



第2次 行田市環境基本計画

平成26年3月
行田市

はじめに

高度経済成長期以降の我が国における大量生産・大量消費型の経済は、私たちの生活を便利で快適なものにする一方、地球環境への負荷を著しく増やし、自然破壊や地球温暖化など様々な環境問題を引き起こしてきました。さらに、近年では、原子力発電所の事故が大きな転換となったエネルギー問題や突発的に起こる局地的な大雨などの異常気象といった新たな課題も数多く発生し、改めて地球規模の環境の悪化が危惧されているところであります。



行田市においては、平成14年に本市の環境の保全と創造に関する基本理念を定めた「行田市環境基本条例」を制定するとともに、平成16年にその具体的な取組みを示した「行田市環境基本計画」を策定し、本市独自の環境施策を積極的に展開してきました。

このたび新たに策定した「第2次行田市環境基本計画」では、これまでの環境施策をさらに発展させつつ、現在起こっている課題にも対応していくため、「生活環境」、「自然環境」、「地球環境」、「啓発活動」という4分野の基本目標を設定しております。

今後、行田市では、本計画を先人から受け継いだ“ふるさと行田”と水と緑あふれる“地球”を次世代に引き継ぐための最重要計画と位置づけ、大胆かつきめ細やかに各種施策に取り組んでまいります。

計画の推進には、市民、事業者、市がそれぞれの責務を果たしながら、協働して取り組むことが必要となります。これからの私たちの住む地球の未来を一人ひとりが考え、今を生きる私たちが力を尽くして、環境にやさしいまちづくりを進めてまいりましょう。

結びに、本計画の策定にあたりまして、熱心なご審議をいただきました環境審議会の皆様をはじめ、アンケートや市民意見募集手続において貴重なご意見やご提案をお寄せくださいました多くの市民・市内事業者の皆様から心から感謝申し上げます。

行田市長 工藤 正司

目 次

第1章 計画の基本的事項

I 計画策定の背景	1
II 計画策定の目的	1
III 計画の位置づけ	2
IV 計画の期間	3
V 計画の推進主体及び対象範囲	3

第2章 環境の現状と課題

I 行田市の概況	4
II 生活環境	10
III 自然環境	17
IV 地球環境	19
V 環境配慮活動	22

第3章 計画の方向性

I 望ましい環境像	25
II 基本目標	26

第4章 計画の施策

I 施策の体系	28
II 施策の内容	30

第5章 計画の推進

I 進行管理システム	57
II 推進体制	58

資 料 編

資料 1 国・埼玉県的环境年表	60
資料 2 主な環境関連法及び条例	65
資料 3 環境基準等	67
資料 4 用語集	70
資料 5 行田市環境基本条例	74
資料 6 行田市環境審議会条例	78
資料 7 行田市環境基本計画推進委員会設置規程	79
資料 8 行田市環境審議会委員名簿	81
資料 9 計画策定の経緯	82
資料 10 諮問・答申	83